

2016-B

VI51-B

拠出金・基金
の名称

国際家族計画連盟拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際家族計画連盟(IPPF)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

特に公的サービスが届きにくい貧困層や社会的弱者に対して、草の根レベルで、性と生殖に関する健康サービス(産科, 婦人科, HIV関連等を含む)の提供, 女性のエンパワーメントに関する活動, 人口・家族計画情報の収集, 啓発活動, 政策提言活動等の支援を行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	1,066,694	8,889		1米ドル=120円	100%
平成27年度	931,013	8,464		1米ドル=110円	100%
平成26年度	931,013	9,598		1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義, 成果等に関する我が国としての評価】

- 性と生殖に関する健康, 人口・家族計画分野で世界最大の非政府機関として国際的に大きな発言力を有するIPPFの主要拠出国(10.8%, 第4位(2016))として, 同機関への影響力を引き続き最大限確保し, この分野の日本の貢献を効果的に訴えていくことが可能。
- IPPFの2016年実績は以下のとおり: 1億8,250万件の性と生殖に関する健康に関するサービスを提供し, 5,960万人がIPPFによるサービスを享受。その8割が, 青少年や貧困層, 社会から疎外された人々等の公的サービスが届きにくい社会的脆弱層。またサービスの41%を25歳未満の青少年に提供した。580万件の望まない妊娠を予防し, 150万件の安全でない人工中絶を予防。性と生殖に関する健康及び権利, ジェンダー平等の促進のため, 175件の政策・法律の改正に貢献。
- 平成28年度補正予算では, シリア・レバノン・ヨルダンにおいて, 病院, クリニック, モバイル・クリニックを改修し, 国内避難民・難民の妊産婦女性の健康を守る取組, また, 性的暴行を受けた女性たちの精神的身体的ケアの実施のために計上した。

【備考】